

OB会だより

国臨協OB会関東信越支部

平成25年4月20日

NO 56 号

発行責任者 秦 政行

編集責任者 宮野勝秋

国臨協OB会関信支部事務局

柏市市大井893-8

TEL: 04-7193-0866

第32回 総会・懇親会告示

国臨協OB会関信支部

会員各位

会長 秦 政 行

今年は早目の桜も終わり、鮮やかな緑の季節となりました。会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと推察いたします。

東日本巨大地震の被害から2年が経過し、ようやく復興の兆しが見えて来ました、被災地が望む出来るだけ早く届ける、顔の見える支援が求められています。

しかし、そんな中4月13日早朝に、兵庫県淡路島で最大震度6弱の揺れを記録した地震がありました、東日本大震災で一気に地震大国になった印象の日本ですが、気象庁は今後、最大震度5弱程度の余震が起きる恐れがあると発表され、活断層はどの地域でも地震が発生しうる状況にあるとの事で日本列島は大丈夫か？生活していて心配です。

東日本巨大地震の震災被害は4月10日現在、死者1万5,883名、行方不明者2,681名、避難者31万3,329名の状況です、

復興の中、被災地の外で想像する以上に現地では、段々と風化への不安が強くなっているのが現状で、誰かに見ていてもらわないと人は頑張りがきかない、被災者に声をかけて自分達の事を忘れないでと思っているからです、大型連休に東北へ行こうと思っている方もいるだろう、ボランティアもよし、旅もよし、言い換えれば来訪者の有ること自体が被災者にとっては励みになり被災地の再生への役割となるでしょう。

さて、会員の皆様、第32回OB会関信支部総会・懇親会を下記の通り開催いたします。ご多忙の中万障お繰り合わせの上、ご出席して下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、出欠については同封のハガキにて5月25日(土)までに近況報告を書き添えの上、返送下さる様お願いいたします。

記

日 時 : 平成25年6月1日(土) 12時30分 開始

場 所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)JR市ヶ谷駅下車 徒歩2分

千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921

懇親会費 : 8,000円(年会費 2,000円含む)

出欠ハガキ締め切り : 出欠・近況報告を書き添えの上 平成25年5月25日(土)

以上

After - 60&Anti Aging (4)

高橋正雄

——化石のつぶやき——

自称、ネットワークのハンドルネームは臨床検査技師の「化石」をニックネームとしています。

現役を退いて早や 20 年余、生涯臨床検査技師でいたいといった思いもあって、いまだに技師免許を返納しないでいます。

そろそろ群馬県臨床検査技師会の参与を辞退するとともに退会を申し出たところ、思いがけなく県技師会長から、渉法講演会（サヨナラ講演）開催の誘いをかけられました。

その後講演の CD - R を会員に提供するために提出、それに続いて講演要旨を会誌に投稿するよう要請がありました。

化石になるまでの長い年月、振り返ればさまざまなことが思い出されましたが、古い回顧談より、臨床検査の領域で今なにが、そしてこれからなにがおこるのか、医系報道機関 3 社とメディアから、日曜を除いた毎日、十数件の最新医療情報の配信を受けるなどして、およそ 60 キロバイトの投稿原稿を投稿しました。

その一部を話題提供として貴重な紙面をお借りします。

臨床検査に革命的な変化

2012 年 5 月 9 日、島津製作所フェロー・最先端研究所所長・田中耕一所長の記者会見に大きなカルチャーショックを受けました。

作業着姿で会見に臨んだ田中所長(写真)は「今まであきらめていたものが、

これで見えてくる。大きな自信をもって紹介できる」そして「機は熟した」と、さらに、「一滴の血液でがんの超早期発見実用化に成功した」というものでした。



タンパク質などの有機成分を破壊せずにイオン化することで有機物を計測可能にした結果、「より高精度に」「より高感度」に「より高速に」疾病の早期発見に至る画期的な研究成果を、淡々とした語り口で発表しました。

病気に罹ることによって体内に新たな種類のタンパク質が作られ、その発見が診断や治療薬の開発につながることに着目。ヒトの免疫反応で重要な役割を果たす抗体をつかって、10 万種類のタンパク質から病気に関するものだけを素早く見つけ出す方法を開発したのです。

田中耕一所長の研究成果は、次々に受け継がれて、驚異的成果の新発見が続きます。

続々と研究成果が

尿細管血栓物質の発見 尿細管血栓物質であるタンパク質「G α 12」を特定したのは、ハーバート大学客員教授・根来秀行教授でした。

死亡率 50 % という急性腎不全の原因物質の発見は、即治療薬の開発に期待がもてます。

2008 年、腎臓病患者は日本人の 6 人に 1 人で、患者総数は 1,330 万人、要治療の患者は 600 万人。

腸内悪玉菌抑制タンパク質の発見 「PD1-1」「LAG-3」この二つのタンパク質が、競合して疾病を抑制するいわゆる

自己免疫制御物質・遺伝子タンパク質の解明で、発見したのは徳島大学・分子生物学・免疫学・岡崎拓教授です。

ギランバレー症候群、シューグレン症候群、重症筋無力症、2型糖尿病、バセドー病、リュウマチ疾患、全身エリテマトーデス、橋本病、花粉症、アレルギー性疾患の診断治療の臨床応用に期待がもてます。

筋萎縮性側索硬化症(ASL)の患者は2012年およそ9000人。この難病の進行を遅らせるタンパク質「**GPLNB**」の発見者は、岐阜薬科大学研究グループで、早期診断と新薬の開発に貢献します。

痛みを運ぶタンパク質の発見 アデノシン3リン酸(ATP)末期がん患者のこの激痛は、想像に絶するものがあり、鎮痛薬の早期開発に希望がもてます。発見者は岡山大学・森山芳則教授です。

ピロリ菌のいたずらストップ ヘリコバクターピロリ菌のもつタンパク質「**CagA**」が胃粘膜を傷つけはがれ落としますが、組織結合に関わるタンパク質「**PAR1**」に取り付きその機能を失わせることに着目、胃がん発症の原因を解明した研究でした。

研究者は北海道大学・畠山昌則教授です。

筆者は幼少期から長年、井戸水を飲んでいましたので、通常の4倍ものピロリ菌を育てて？いました。よくぞ胃がんにならなかつたと恐怖でしたが、1回の除菌でみごと陰性になりました。3割もいる除菌失敗グループに入れられないで、ほっとしています。

日本人に最も多いのが胃がん、21万人と推定され年間死亡者はおおよそ5万人、50歳以上のピロリ感染率は実に80%とか。その除菌もようやく保険適用が認められるようになりました。

肝疾患の診断完治に光明 星状コラーゲンをつくるために必要なタンパク質「**HSP47**」に注目し、その動きを抑制する物質

「**SIRNA**」治療薬を開発、マウスの実験で、肝疾患が完治することに成功したのは、札幌医科大学・新津洋司教授でした。

ウイルス性肝炎、肝硬変などの治療薬開発に光明をもたらしました。

老化の原因タンパク質を発見 歴史上最大の領土を制覇し、絶大な権力を握った、秦の始皇帝は「不老不死の薬を探せ」とばかり、天下に大号令を発しました。

北海道大学、千葉大学強化チーム、大阪大学・小室一成教授は「実用のハードルは高いが、老化を防ぐ人類の夢に一步近づく成果」と述べています。

その研究内容は、血中タンパク質「**C1q**」が体内に侵入した細菌やウイルスを撃退する免疫力をもっていますが、過剰になると老化につながることを突き止めました。

心不全、加齢リスクに老化、心不全、動脈硬化、糖尿病などの治療に光明をもたらす発見ですが、これぞ未曾有の長寿社会が目指す「健康長寿」を手にする大変なツールの発見です。

陵墓のなかで始皇帝はさぞかし「生まれるのが、ちと早かった」と切歯扼腕しているのではないかと、ひそかに思っています。

ある大臣が「年寄り、とっとと死んでもらった方が、云々……」の珍発言に背く結果になりますが……。

潰瘍性大腸炎の病因 胃や腸を細菌の感染から守る粘液を作る際に「**IRE1 β** 」というタンパク質が重要な役割を果たしていて、これが不足すると、腸粘膜がただれて腹痛や下痢を繰り返す原因不明の「潰瘍性大腸炎」の病因であることを証明したのは、奈良先端科学技術大学院大・河野憲二教授チームで、その研究成果が米科学アカデミー電子版に掲載されました。(共同通信配信)

このことを群馬大学・岩脇隆夫博士らの共同研究でも、マウスを使った実験で証明されています。

田中耕一所長は記者会見の最後に「まだやりたいことがたくさんある。実験が好きなので続けていきたい」と、さらに「日本の科学技術については、数多くの研究が世界の最先端を行っている。もっと自信をもっていいと思う」と会見を締め括りました。

世界で初めて高質量分子のイオン化に成功し、博士号をもたない民間企業の技術者、工学分野の出身者然とした作業着姿のノーベル賞受賞者にいっそうの親しみを感じ、とても興奮し高揚感に包まれました。

さて、現役の後続臨床検査技師たちは、これら新発見のフィードバックに、どう向かい合うことになるのでしょうか。ブランチラボでしょうか、それとも衛生検査所への外注任せでしょうか。

片や、われわれOBたちは、超特急に進歩発展する臨床検査にとってもついてはいけない思いと、羨ましいと思う気持ちが交錯しています。(4月8日 リリース)

超迅速の診断ツール・遺伝子

消化器がん特有の遺伝子 がん患者 40人と健康な 13 人計 53 人の血液を調べたところ、およそ 9 割にあたる 48 人で、がんの有無を正しく判定できたというもので、なかでも発見が難しい膵がん 28 人で、その精度 87 %、偽陽性 10 %、3 日間で 7 割が判定できて、その費用 1 件 6 万円、X 線被爆がなく、しかも PET 検査の半額で済むという。

その名は「マイクロアレー血液検査」遺伝物質 (RNA) を抽出、リボ核酸を蛍光抽出して遺伝子パターンの解析ソフトウェアのスキヤナーにセットし判定するもので、すでに富山県内 2 カ所の病院(砺波市立総合病院、富山市立病院)で実用化されている。

しかも、酵素の器質特異性・発がん部位・作用部位等を考慮しつつ、がん組織の検討に入り、実際の“臨床がん”しか知りえない所見まで望めるという優れものです。たった 5 ml の血液採取で……。

肝疾患早期診断の遺伝子 マイクロ RNA 組織の 12 種類のリボ核酸でウイルス性の A・B・C 型慢性肝炎、非アルコール性脂肪肝などの肝疾患は、従来パンチバイオプシー鑑別診断を行っていたものが、僅かな血液で不要になる可能性を、阪大、神戸薬大、広島大共同研究が、米プロスワンに発表掲載されました。

膀胱収縮遺伝物質の特定 別名体内時計の遺伝子である「Cx43」が、京都大学泌尿器学科・小川修教授によって発見されました。

この遺伝子を制御できれば、高齢者の夜間頻尿や小児夜尿症の治療にも役立つといえます。このことは兵庫大学でのマウス実験でも証明され英科学誌ネイチャー Com に発表されましたが、この成功は、抗がん剤や降圧剤投与にあたって、最も効果の高い時間帯を特定できる利点もあります。

薄毛の遺伝子治療 日本人男性のハゲ人口は、この 10 年間で推定 620 万から 970 万人に急増しているという調査報告もありますが、若者や女性の薄毛に悩む人も含めば 1,200 万人、実に日本人の 10 人に 1 人といえます。

東京大学・辻孝教授は遺伝子操作で 2 種類の幹細胞移植で発毛を繰り返すことを発見したことは、よく知られています。

いまさらとの思いもありますが、筆者もひそかに期待している一人ではあります。

隠岐の島旅行記

(隠岐の海とNHK朝の連続テレビ小説「だんだん」の
 主役 三倉茉莉・佳奈との) つかの間の??? 宮野勝秋

2009年8月19日～21日、羽田空港
 9時10分発～大阪空港(発)11時10分に
 乗り換え隠岐の島空港に12時00分に着陸
 した。降機すると何と三倉茉莉・佳奈とそ
 のスタッフの一団が後方から来るのではな
 いか。2008年10月～翌年の3月の間NHK



出演した三
 倉茉莉・佳
 奈が搭乗し
 ていたのだ
 ではないか。

聞くとこ
 ろによ
 ると、放送が

終わり出演
 したメンバー
 にてロケ時のお
 礼の挨拶に来
 たとか。

空港より西
 郷港「りょう
 ば」にて昼食
 をすませ、港



に出ると相撲取りの3人がフェリーにて帰る
 風景に出会
 った。一人
 が隠岐の島
 出身の隠岐
 の海で当時
 は未だ十両
 力士であっ
 た。

その後

2011年

1月場所より 88年ぶり島根出身新入幕イケ



メン隠岐の海、故郷への思いを、しっかり感
 じていた。

隠岐の海は、大き
 くなった番付のしこ名
 を見詰め「思い出に
 残る力士になりたい
 ですね」とつぶやい
 たとか。島根県の北
 約50キロに浮かぶ
 隠岐諸島の「島後(ど
 うご)」、隠岐の島町
 出身。一緒に撮影する
 ことを気軽に応じてく
 れた。ただ隠岐の海は練習嫌いで角界では有
 名である。でも今年の3月場所では11勝4
 敗で敢闘賞を。



翌20日、
 西郷港～知夫
 里島行きフェ
 リーでの出来
 事である。出
 港間近、騒が



しいので外へ出ると7色のテープ(写真)が、
 今ではこのような出航は希であるとのこと。
 これは三倉茉莉・佳奈さんが知夫里島にて挨拶
 ながらライブに行くとかであった。

退職後に数十回の旅行で有名人に逢った
 は、これが初めて最後である。



マタギ症候群 (6)

藤川淳策



毎年11月15日が本州での狩猟解禁日である。この日が近づくと病の症状が悪化するのは今までにのべてきた。だが、その前にはやる気持ちを抑えて準備しておくべきことがある。まず、ライフル銃の照準調整。狙った的に弾が正確に着弾するか否かを確認しておかなければならない。このために射撃場へ行っての撃ちをおこなう必要がある。100メートル先の的の中心部に着弾するようにスコープの微調整をおこなう。4～5発が的の中心部の黒点に集中するようになればOK。

次に、自宅での銃の肩付けなどのイメージトレーニング。自宅の壁のあちらこちらに直径1センチ程のシールを貼る。これを獲物に見立ててどの方向でも素早くスコープの十字の中心で捉えられる練習をおこなう。この際、両目を開けて右目ではスコープを見、左目では他の景色全般を見る癖をつけておく。人間もカメレオンのように右目と左目がそれぞれに別々の物を見ることができれば便利なのだが・・・。

こうした練習をしておくと、狩場で獲物が突然目の前に現れても素早く対応（射撃）できる。実際に尾根でたちま（立間）を張っている時などに積雪があれば、獲物の足音が聞こえないので突然に目の前に大きなシカが出現したりすることがある。このとき2～3秒以内に正確に射撃できなければ逃げられてしまうだろう。なにしろ野生のシカは4～5メートルは飛び跳ねることができる。テレビで

見たことがある、東アフリカのサバンナでライオンに追われたトムソングゼルが大きくジャンプする姿のあれである。

狩場での実猟が始まる前段階として大切なことに見切りがある。見切りとは、経験豊富な猟師がこの山（猟場）は今日狩猟をおこなうのに適しているか否かの判断をおこなうことをいう。たとえば、A図に一例を示す。図面下方に林道を斜めに横切ってイノシシの真

A 狩場の見切

狩は行わない



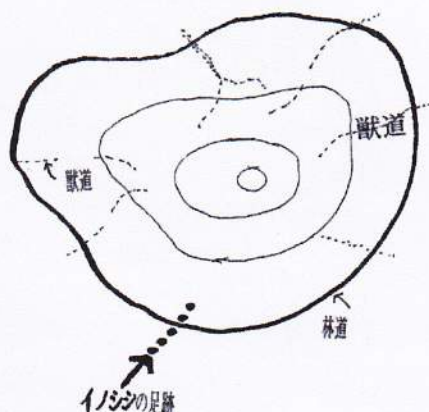
新しい足跡が山頂方向に登っているとしよう。マニュアルの四輪駆動車で何人かで手分けしてこの山の林道ぐると回って、イノシシの新しい足跡が林道を通り抜けて別の山に行ったか否かを見てまわる。A図では画面上部でイノシシの真新しい足跡が通りぬけているのがわかる。この山（猟場）ではイノシシが居る確率は低いので今日はこの山でのイノシシ猟を行わない。

同様にB図では図面下方で新しいイノシシの足跡が山に入っている。しかしどこにも

イノシシがこの山の林道を通り抜けて別の山に入った痕跡は見当たらない。まだこの山（猟場）のどこかにイノシシが居る確率が高い。今日はこの山でイノシシ狩りを行う。

B 狩場の見切

狩を行う

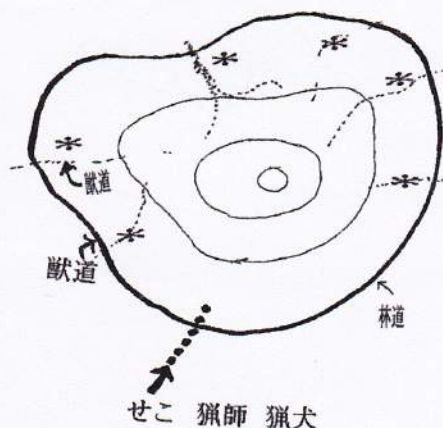


この見切りには相当な経験を要する。足跡の新旧や獲物の大小、頭数などの見分け。狩を行う前日の夜半頃までに5センチ以上の新積雪があると、この見切りは楽である。なぜなら、新雪が獣の古い足跡を消してくれて夜半以降に動いた獣の新しい足跡のみを残すからである。

さて、この山（猟場）で今日の狩猟を行うことが決まると、その日の参加猟師の人数に応じてそれぞれの持ち場（立間）が決まる。C図にこの一例を示した。経験的にその猟場

C 狩開始

* たちま



での勢子（せこ）に追われた獲物の逃げ道は

把握されている。そのような場所（ポイント）に立間（たちま）を受け持つ猟師を配置する。各場所に立間の配置が終了すると、勢子（猟師）と猟犬が山に入り猟が始まる。立間はほぼ獣の足跡がある獣道のことが多い。しかしその日のさまざまな条件により、勢子に追われた獲物が立間のいない場所に出現することもあり、獲物に逃げられる。これを「立間が切られた」という。

見切りでシカの足跡を確認して猟を始めてもシカ、イノシシ、クマと出現することもある（写真）。狩猟中に猟師仲間とイノシシのた



めに大けがをした者もおり、大物猟には少しばかりの危険が付きまとう。

しかしながら、その日の猟が終わったあと



猟師仲間と猟師料理を酒の肴にして、自慢話や失敗談などをワイワイ言いながら一杯飲むのは楽しいひと時である。

社会瑣談

佐藤乙一

思いつくままに雑文を並べてみました、腹を抱えてわらってほしい。

- ◎ 中央線立川発→東京行き。時間は午前10時30分発、車中乗客は約70%か。ずっと見渡してみると文庫本を読んでいる人は僅か3人若者はスマートフォンに熱中、日本の文化はどこへゆく。
- ◎ 去る2月14日大雪の情報、天気予報は「東京は小雪」。午前5時過ぎ起床。戸を開けてビックリ、銀世界。日本列島太平洋側を北上する低気圧のせい。当たらない天気予報だった。
- ◎ 「君の趣味は何だ」と聞かれると必ず答えるのは「庭木と手入れ」盆栽ではないことに注意。大きな刈り込み欽6丁、手挟み5丁庭の緑5月ともなれば美しい。だが今は高齢者の歯のように1本枯れ、2本枯れ、オツムにも似て庭も淋しい。だがこれ以上は新植しない「もう嫌だ」。91歳だもの。
- ◎ 「検体はモノ」と勝手に言いふらしたのはお前だ、との書き込みあり。昭和49年5月17日国会衆議院社会労働委員会で厚生省医務局長は言った「物体の検査業務は直接人体に影響を及ぼすおそれが少くまた、大卒の理系の人にも自由に加わってもらうことが好ましい」という意味の答弁が根拠だ。
- ◎ ある人の実話。その昔厚生省で国立病院療養所職員約55,000人の管理責任にあった課長さんの名前が書かれた淋しい葬儀に出会ったという。世には似た名前的人也多い。ソッと近くに寄って見たら当の課長さんだったとか。昔の人の顔はほとんどなかったという。お役人のお付き合いというものの中には心の通じ合いというものはないものらしい。世人は言う「退職してしまえばただの人」言い得て妙だ。
- ◎ 冬の寒さがくれば夏の暑い方がいいと言い。暑の35℃の日には「冬の方がいいネ」と。人間は勝手なものだ。
- ◎ カゼ、インフルが流行している。マスクをかけているのはいいが何と鼻の穴は丸出しで、口だけかけている人が何と多いとか、マスクは鼻と口にピタリとつけるものとはマスクメーカーもよくPRしているがね。
- ◎ 某高校進路指導部長の質問。「師と士とはどう違うのか」と、さらに聞く「診療放射線技師の診療と臨床検査技師の臨床はどう違うのか」など高校に呼ばれてゆくと臨技の総会質問と同様の質問せめにあうこと多し。広辞苑の説明はむずかしすぎるという。
- ◎ 小さく縮み土をなめそうになるまで曲がった老婆、四輪の手押車に山程の荷物を乗せ、背中一杯のリックを背負っている。中には1万円札を一杯詰めて歩いているのかと思う。それに反し若い女の子は身軽、給料が安くてリックに詰めるほど1万円札はないだろう。アベノミックスはどこへゆく。
- ◎ かかとのとがった女性の靴。土に当たる面が親指の2分の1程小さい。混雑しているバスに乗ってきた。何もつかまっていな。踏切一たん停車急発進。よろけた女の子の靴で足の指先を踏まれて大変。「ギャー痛い」の声にバスまた急停車「乗ったらつり革か手すりにつかまれ」と言っているのではない。空念仏と思って聞いているのか。



◎ 沖縄本島の1月半は13℃と暖かい。

北部行き的高速路に入って北部へと急ぐ、奥に行くに従って山山には林立する白骨枯木が目立つ。昨年は大きな台風による塩害で山の木が枯れたらしい。1月半は沖縄のヒカン桜の季節だが木はあれど花はなし、よく見ると1枝に1～2個が淋しそうに咲いている。これもあの大台風のせいだとか。

◎ 世に「なくて7くせ」という。若い頃からバス、電車などに乗ると必ず大型の本を開き熟読したもの。年とともに本は小型化し、読むのではなく活字を数えることに、そして気がついたら立川駅を乗り越した。失敗は成功の基というが、こんなところに使う言葉でないことはわかっている。

◎ 中央線新宿駅で高尾行きの電車に乗った。6輦目だから丁度真中あたりだ。立錫の余地がない。目の前に座っている40歳半頃の男性。もう1人は立って何やら話している、やがてスカッと立って「どうぞお座りください」と、座った私は改めて立ち「有難うございます」若い人は国分寺で下車、「笑いを浮かべながら気をつけて」の声私はまた立ってお礼、こんな風景気持ちがいいね。

◎ 昭和30年当地に家を建てた頃はノドカな街だった。開発が進み家がビッシリ、古い家との交際があるが新家、新人とは毎日顔を合わせても挨拶は全くなし、視線が合ってもだ。街角の掲示板には「挨拶は〇〇と」これを絵に描いた餅というのだろう。

大きな数の数え方(億、兆、京、垓、…) 小さな数の数え方(分、厘、毛、糸、…)

一	いち	1
十	じゅう	10
百	ひゃく	100(10 ²)
千	せん	1000(10 ³)
万	まん	10000(10 ⁴)
億	おく	10 ⁸
兆	ちょう	10 ¹²
京	けい	10 ¹⁶
垓	がい	10 ²⁰
秭	じょ	10 ²⁴
穰	じょう	10 ²⁸
溝	こう	10 ³²
澗	かん	10 ³⁶
正	せい	10 ⁴⁰
載	さい	10 ⁴⁴
極	ごく	10 ⁴⁸
恒河沙	こうがしゃ	10 ⁵²
阿僧祇	あそうぎ	10 ⁵⁶
那由他	なゆた	10 ⁶⁰
不可思議	ふかしぎ	10 ⁶⁴
無量大数	むりょうたいすう	10 ⁶⁸

今更聞けない

分	ぶ	0.1(10 ⁻¹)
厘	りん	0.01(10 ⁻²)
毛	もう	100(10 ⁻³)
糸	し	1000(10 ⁻⁴)
忽	こつ	10000(10 ⁻⁵)
微	び	10 ⁻⁶
纖	せん	10 ⁻⁷
沙	しゃ	10 ⁻⁸
塵	じん	10 ⁻⁹
埃	あい	10 ⁻¹⁰
渺	びょう	10 ⁻¹¹
漠	ばく	10 ⁻¹²
模糊	もこ	10 ⁻¹³
逡巡	しゅんじゅん	10 ⁻¹⁴
須臾	しゅゆ	10 ⁻¹⁵
瞬息	しゅんそく	10 ⁻¹⁶
彈指	だんし	10 ⁻¹⁷
刹那	せつな	10 ⁻¹⁸
六德	りっとく	10 ⁻¹⁹
虚	きょ	10 ⁻²⁰
空	くう	10 ⁻²¹
清	せい	10 ⁻²²
淨	じょう	10 ⁻²³



平成25年度 会費納入のお願い

平成25年度会費・総会後懇親会費を含む金額は、下記の通りです。

合計金額 8,000円

年度会費 2,000円

総会懇親会費 6,000円

(総会・懇親会出席者は、当日徴収します)

編集後記 桜舞う春 花の降る宵

「春」と聞いてあなたは何をイメージするだろうか。桜、桃、菜の花、椿、堇、沈丁花、ふきのとう、芹、土筆、ワラビ、筍、花見、卒業、入学、進級、高校野球、鯪、キャベツ、和菓子、花粉症、etc。一口に「春」といっても人によって様々なイメージがあるに違いない。暦の上での「春」は「三月・四月・五月」。三月に入ると、厳しかった寒さも徐々に緩み、あちらこちらで花が咲き始める。雪解け水に生き物たちは目覚め、生命は沸き立つ。とはいえ、ご存知のように細長い日本、春の訪れ方は場所によって様々だ。北海道や日本海側がまだ雪に覆われている3月初旬、太平洋側の半島部では花が咲き、九州付近ではそろそろ初夏を迎えようかという4月下旬～5月上旬になって、北海道に遅い春が訪れる。狭い日本は、ある所では雪が積もり、鳥が歌い、花びらが舞っている。この地域的な日本の春をさらに魅力的なものにしているのだろう。日本の春の様子を初めて知った外国人は、今までに見たことのない「桜前線」や、ピンク色になるビールの缶や花見の喧騒に驚き、そして桜の美しさに感動するという。

NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」



初夏になると思い出すのはとろけるようなウニの味。日本有数の産地、三陸海岸ではまもなくキタムラサキウニが漁期を迎える。『あまちゃん』の記念すべき第1回(4/1)は、1984年の北三陸鉄道リアス線開通の日からスタート。式典では開通を祝う地元の人たちが大勢集まっていました。そのシーンの撮影(久慈駅のホームで撮影)に参加していただいたのは、約150名の地元エキストラのみなさんです。(私は207.9.14に久慈駅～晋台代駅間を乗車した。ウニ弁当を食べながらの記憶は無い。)そして、みなさんが着ている衣装はほとんどが自前。設定が1984年ということで「お母さんのおさがりを着てきました」、「これ、私がまだ



まだ若いころのワンピースなんだけどね(笑)」と、みなさん80年代を意識した衣装を着て参加して

いただきました。撮影の合間には、「その服のデザイン、なつかしいわ」など、エキストラのみなさんも盛り上がっていたとのこと。

(K・M)

